令和８年度　第２回富里市行政改革推進審議会
会　議　録

〔日時〕令和８年９月３０日（水）
１３：３０～１４：３０
〔場所〕富里市役所本庁舎３階第３会議室

○出席者（順不同）
（委　員）寒郡茂樹会長、町田弘副会長、石川賢治委員、
沖田健二委員、平野希委員
（事務局）山﨑企画財政部長、根本経営戦略課長、小澤課長補佐、
粕谷主査、城本主事
（傍聴者）なし

○次第
１　開会
２　会長あいさつ
３　議題
(1) 第２次政策実行計画令和７年度事業の外部評価について
(2) ヒアリング事業の選定について
４　その他
５　閉会

○配布資料
・会議次第

会議録

１．開会

２．会長あいさつ

３．議題

(1) 第２次政策実行計画令和７年度事業の外部評価について

【会長】

・事務局から説明を求める。

〈資料を基に事務局より説明〉

【会長】

・各委員が気になった事業の評価について、委員の皆様から発表いただきたい。

【委員】

・No.31「地域に合った公共交通体系づくり」について、デマンド交通が非常に便利で、とても良い。

【委員】

・No.50「ICT を活用した教育の環境整備」について、子どもにタブレットを 1 台ずつ配布していると知り、富里市はまだインフラ整備中だと思うが、心配な事業と感じる。ただこの取組は、便利であり、先生の負担は軽減されるため、その分先生が子どもたちに愛情を注げるという流れになれば、良い事業だと思う。人情が通った学校生活を送れるというところが、最終ゴールなのであれば非常に賛成だが、現時点で結果が見えないため、富里市でこの事業が必要かどうかは、判断が難しい。先生の負担が減り、その分子どもに愛情を注げる学校生活になることを期待している。
・No.56「青少年の健全育成」について、放課後子ども教室のボランティア等で参加している知り合いから意見を聞くが、放課後は子どもが授業後の時間をリラックスして過ごせる場であるべきだと考えている。

大人は、プログラムや体験活動を考えるが、子どもがリラックスできる場になっているかは疑問。取組内容に、学習や様々な体験活動のほか、交流活動等を継続的に提供するとあるが、あまりしっかりとやらなくても良いのでは。

【委員】

・No.10「子どものための教育・保育の充実」について、保育士の充足数、定着率・離職率等について、改善が図られたのかどうかがここで見ることができない。そのため、充足数や定着率・離職率等について記載してほしい。記載がないと、助成金が本当に保育士に届いているかがわからない。
・No.13「介護保険制度の安定的な運営」についても、同様に、介護人材の充足数や定着率・離職率等が見えないため、改善してほしい。
・No.15「地域包括支援センターの運営」について、今後高齢者が 5 年、10 年と増加傾向が見込まれる。近年の物価高、給与上昇等の中で、委託料の見直しが必要であり、委託費を引き上げなければ、職員の賃金上昇は難しく、人件費削減により、センターの運営に支障をきたす可能性がある。適切な職員への支払いを確保するため、委託料の増額が必要だと思う。
・No.21「妊娠・出産を望む方への支援」について、低評価となっているが、内容は個人情報や価値観に関わる繊細な部分である。問い合わせ件数は、23 件だが、今後単なる問い合わせではなく、可能な限り相談に結び付け、親身になって寄り添うことが大切だと思う。
・No.30「デジタル化の推進」について、市の公式 LINE や防災・防犯メールの登録、マイナンバーカードの活用なども、相談会や講座を行い、行政サービスの DX をさらに進めるべきだと思う。
・No.50「ICT を活用した教育の環境整備」について、家庭でのタブレット利用は小学校が 31%、中学校が 38%であり、約 3 分の 1 の生徒が利用していない。Wi-Fi 環境が整っているかどうかで、使用できるか決まると思うので、対応を検討してほしい。
・No.60「職員のスキルアップ」について、研修を受けた人が職場で実際に活用できているかが重要である。効果の見える化が難しいと思うが、意識をしてほしい。
・事業概要及び自己評価シートを見たときに、政策実行計画事業の予算額、決算額、予算の執行率、根拠、事業の達成度等について資料に記

載されていないため、検討してほしい。
・指標とする対象項目、実績値に関する記載について、事業概要との整合性や適切性に疑問がある。
・単位が適切か、実績値についても何を指しているか不明確な部分があり、7 ページについては、委託事業所数を増やすことが目的に見えてしまい、本来は利用者を増やすことが目的だと思うので、変更等について検討してほしい。

【委員】
・No.2「地域福祉力の強化」について、社会福祉協議会事業推進補助金の中で、人件費の割合はどのくらいか。
・No.4「自立した生活への支援」について、指標とする対象項目の就労決定者数の中で、生活保護受給者はどのくらいか。
・No.6「子育て相談・支援体制の充実」について、家庭相談員等報酬の記載があるが、家庭相談員の数はどのくらいか。
・No.30「デジタル化の推進」について、政策 2 の都市基盤の景色の掲載で良いのか。他に適切な場所はないのか。

【委員】
・No.24「にぎわい拠点づくり」について、もうすぐ完成予定だが、今後の展開をどのように考えているのか。
・No.26「空家等の対策と活用」について、非常に良い事業だが、今後どのように発展していくのか。
・No.41「産業の振興」について、創業や事業承継などに取り組んでいただいているが、これからの展開についてどう考えているか。
・No.58「多文化が共生するまちづくり」について、外国人就労の増加が予想される中、現状の相談員体制ではなく、より踏み込んだ政策が必要だと思う。

(2) ヒアリング事業の選定について

【会長】
・事務局から説明を求める。

〈事務局より説明〉

【委員】

・ヒアリング事業について、各委員から発表。
・No.24「にぎわい拠点づくり」
・No.30「デジタル化の推進」
・No.42「企業の誘致」
・No.50「ICT を活用した教育の環境整備」
・No.56「青少年の健全育成」
・No.58「多文化が共生するまちづくり」
・No.59「学校給食センターの共同利用」

【事務局】

・7 事業について、担当課と調整を行い、進めていく。

４．その他

特になし

５．閉会